

つ

agriculture
communication
magazine

ば

no.102

7月
2016

さ

JA赤城たちばな
<http://www.jaat.net/>

特集

第17回通常総代会を開催 改革へ、中期計画を策定



Contents／目次

- 営農インフォメーション
- 女性のページ
- 農業指導センター情報
- ベジタブルライフ
- お知らせコーナー
- 年金友の会
- 読者のコーナー

田植え体験で笑顔を見せる児童たち
(詳細は16ページに掲載)

第17回通常総代会を開催 改革へ、中期計画を策定

J A 赤城たちばなの第17回通常総代会が5月28日、北橘公民館で開かれ、第7次中期計画など上程された全7議案は原案どおり可決されました。

総代会には、総代421人が出席（うち本人出席221人、書面出席195人、代理出席5人）し、午前9時30分に開会しました。

角田組合長はあいさつで、一昨年の豪雪で被害を受けたハウス等の再建が進み、全面復興となつたこと、JAの事業実績も、事業総利益、経常利益及び当期剰余金ともに計画を上回ることができたことを報告した後、「平成28年度は、環太平洋連携協定（TPP）問題や農協改革などさらに厳しい経営環境が続くと思われますが、法令等を遵守し、さらなる経営の健全性・透明性の確保に向け、役職員一丸となつて積極的な事業展開を実践する所存でありますので、組合員の

皆さまには、なお一層のご理解とご協力を願い申し上げます」と述べました。

議長には、赤城町敷島の狩野保明さんが就任。平成27年度の事業報告や第7次中期計画並びに平成28年度事業計画など、上程された7議案と附帯決議が審議され、スムーズな進行のうちに全て原案どおり可決されました。

最後に「持続可能な農業・農村の実現に向けた特別決議」を萩原副組合長が読み上げ、出席者の賛同を得ました。

監査報告する
田子代表監事



受付をする総代

角田組合長のあいさつ



議長を務めた
狩野保明さん



JA赤城たちばな

— 議 案 —

報告事項

平成27年度貸借対照表、
損益計算書、注記表の内
容及び附属明細書並びに
全国監査機構の監査報告
及び監事の監査報告の件

第1号議案

平成27年度事業報告及び
剰余金処分案承認の件

第2号議案

第7次中期計画並びに平
成28年度事業計画設定の
件

第3号議案

平成28年度賦課金の額並
びに賦課徴収の時期及び
方法決定の件

第4号議案

平成28年度における理事
及び監事の報酬に関する
件

第5号議案

定款変更の件

第6号議案

信用事業規程変更の件

第7号議案

農業倉庫業務規程廃止の
件

JA綱領を唱和する
出席者



— 第7次中期計画 —

今回策定した3カ年の中期
計画は、第40回JA群馬県大
会で掲げた最重点目標の「農
業者の所得増大」「農業生産の
拡大」の実現に向け、「農業」「組
合員」「地域」「JA経営」の4つ
の視点から取り組むこととし
ました。目標とする全体戦略
は次のとおりです。

信頼され必要とされるJA
を目指し、取り組んで参りま
す。組合員皆さまのご理解と
ご協力をお願い申し上げます。

【全体戦略】

1 「農業」

① 生産効率と販売単価の
向上

2 「組合員」

① 営農経済新体制の確立
② 職員の行動・意識改革
の実践

3 「地域」

① 食農教育の実施
② 時代に合った情報発信
の実践

4 「JA経営」

① 農業者サポート型の經
營の実践
② JAの体力強化

表彰される角田さん



慎重に審議された第17回通常総代会



— 優良組合員表彰 —

優良組合員表彰基準に基づ
き、地域農業の発展のために積
極的な生産活動に取り組んでい
る角田悦寿さん(赤城町勝保沢)
が表彰されました。

宮農赤城たちばなインフォメーション

ズッキーニ田ぞろえ会
良品出荷を確認



煮たり、焼いたり、炒めたり。
いろんな料理に使えるズッキーニ

ズッキーニは、表皮が柔らかいため、傷が付きやすい野菜です。JA職員は①爪などを当てない②切り口をよく乾かすなど注意を呼び掛け、「市場から品質が良いとの評価を得ている。これからも期待に応えられる出荷をしてほしい」と話しました。

J Aは5月18日、北橘宮農生活センターでズッキーニの目ぞろえ会を開きました。生産者ら11人が参加し、良品出荷を申し合わせました。

J Aの職員が、規格や荷造り、栽培記録用紙の提出などのルールを確認。追肥やかん水、受粉作業など今後の管理を説明しました。

ズッキーニは、育てやすく荷造りしやすいと、管内では年々、生産者が増えています。出荷が始まった6年前は3戸でしたが、今では13戸に増加しました。今年の出荷量は昨年を2倍上回る17トンを見込んでいます。出荷作業は12月中旬まで続きます。



荷造りを確認する生産者



パプリカの生育具合を確認する参加者



互いに研さんする生産者

農薬を減らして労力を軽減する害虫防除として、アザミウマ類やハダニ類の天敵昆虫の導入について説明。放飼のタイミングや注意点を解説しました。

トを指導しました。

JA赤城たちばなパプリカ組合は5月10日、管内の畑でパプリカ現地研修会を開きました。生産者やJA、県、日本デルモンテ(株)の関係者20人が、赤城地区と北橘地区に分かれ巡回。定植して約2週間経過した苗の状況を確認しました。

JA赤城たちばなパプリカ組合は5月10日、管内の畑でパプリカ現地研修会を開きました。生産者やJA、県、日本デルモンテ(株)の関係者20人が、赤城地区と北橘地区に分かれ巡回。定植して約2週間経過した苗の状況を確認しました。

パプリカ畑で研修 成長や防除を確認

況を確認しました。

苗は30~40センチに成長。活着や病害虫の防除の状況を確認しました。どの畑も概ね順調です。

県渋川地区農業指導センターの村永順一郎副主幹は①湿度を保つための小まめなかん水②適切な温度管理③計画的な病害虫防除など今後の管理のポイントを指導しました。

JA赤城たちばなパプリカ組合は5月10日、管内の畑でパプリカ現地研修会を開きました。生産者やJA、県、日本デルモンテ(株)の関係者20人が、赤城地区と北橘地区に分かれ巡回。定植して約2週間経過した苗の状況を確認しました。

JA赤城たちばなパプリカ組合は5月10日、管内の畑でパプリカ現地研修会を開きました。生産者やJA、県、日本デルモンテ(株)の関係者20人が、赤城地区と北橘地区に分かれ巡回。定植して約2週間経過した苗の状況を確認しました。

ブルーベリー目ぞろえ会 アレンジメントに人気

赤城営農経済センターでは、枝物のブルーベリーの出荷が5月中旬から始まり、日ごとに数を増しています。

枝物のブルーベリーは、食用を鑑賞用として青い果実を付けてまま出荷するもの。緑色の葉と実が、初夏を彩る生け花の材料として人気です。

赤城ブルーベリー組合は5月26日、しきしま支所でブルーベリー枝物目ぞろえ会を開きました。生産者やJA職員、市場や県の関係者17人が参加。規格の統一と出荷方法を確認しました。(株)大田花きの前田伊津男さんが「枝物は、最も季節感を演出できる品目。実の付いたブルーベリーは2kgの大きな物から小

初夏を演出する枝物ブルーベリー



真剣に目ぞろえをする生産者

さい物までアレンジメント用に重宝される」と、市場情勢を報告しました。

同組合の齊藤和利組合長は「良品出荷のため、初心に帰つて学んでほしい」とあいさつしました。

5月に入り好天が続いたため、出荷は平年より1週間早い。ピークは6月で、7月下旬まで続きます。出荷量は平年並みの2400kgを見込んでいます。

JAグループ群馬は6月8日、伊香保町のホテル天坊で「出向く営農支援体制・機能強化キックオフ大会」を開きました。県内の役職員ら約100人が参加。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を実現するため、JAとJA群馬担い手サポートセンターが一体となり、農家組合員に出向き、課題の解決を支援する営農指導員やTACの充実に向けて心を一つにしました。

J A群馬中央会の池田隆政専務理事が情勢を報告。営農指導員やTACの明確化や選任化、それらの継続的な人才培养に向け取り組むことを報告しました。

大会では、愛媛県今治市のJAおちいまばりの渡部浩忠常務理事が、「強い志が地域を元気にする」と題し講演しました。農家の困ったことを集めることで、新しい取り組みが生まれるとし、

出向く営農支援へ 自己改革へキックオフ

先進的で独創的なTACの実践状況を紹介。農家組合員の「強い志」を「志を持った職員」が力強く連携・サポートする、と講演しました。



「最大のサービスは人格」と話す渡部常務



営農指導の充実に向け、一丸となるJAグループ群馬

woman voice

女性のページ



美しいツツジに囲まれた参加者



喜多院を参詣する部員ら

**散策でリフレッシュ
婦人部が研修会を開催**

横野養豚婦人部は5月18日、長野県の諏訪方面への県外研修会を開きました。部員やJA担当者ら9人が参加しました。

部員らは、中部日本一といわれる岡谷市のツツジの名所「鶴峯公園」や「蓼科高原バラクライン

帰りは「おがわ温泉花和楽の湯」で、源泉かけ流し風呂や露天風呂など多彩な湯で汗を流しました。

北橘酪農婦人部は6月22日、埼玉県の川越市で研修会を開きました。部員やJA職員ら8人が参加し、江戸の面影が残る蔵造りの町並みを散策しました。有名な「時の鐘」や懐かしさが漂う「菓子屋横丁」などを見学。1200年近い長い歴史を持ち、徳川家康ともゆかりの深い喜多院を拝観しました。

北橘酪農婦人部は6月22日、埼玉県の川越市で研修会を開きました。部員やJA職員ら8人が参加し、江戸の面影が残る蔵造りの町並みを散策しました。有名な「時の鐘」や懐かしさが漂う「菓子屋横丁」などを見学。1200年近い長い歴史を持ち、徳川家康ともゆかりの深い喜多院を拝観しました。

**高齢者の食事を楽しく
ひまわり会が料理講習**

ミニデイサービスで昼食を手作りするひまわり会は6月13日、八崎ふれあい館で料理教室を開きました。会員ら13人が参加し、高齢者向けの料理を学びました。

講師は地域活動栄養士の小野真智子さん。「イワシのかば焼き」「ミルク卵とじ」「切り干し大根のミルク煮」「野菜とソーセージのステップ」「フルーツサラダ」の4品を作りました。

寝たきり予防にカルシウムを

取れる料理を学ぼうと、全てに牛乳や乳製品を使用。弱った腸の働きを助ける緑黄色野菜を多

く取り入れ、塩分は控えめにしました。

試食した会員らは「うす味でもおいしい」「野菜が柔らかく煮えていて、食べやすい」と感想を話しました。

小野さんは、年齢にあつた栄養バランスを簡単に計れる「手ばかり栄養法」を紹介。減塩にはゴマや酢などの利用や、かみ切りやすいように材料を小さく切つたり、隠し包丁をしたりなどの工夫を説明し、「料理は彩りも大切。食べたくなるような盛り付けをして」とアドバイスしました。



手際よく調理する会員ら



完成した体にやさしい
メニュー

牛乳パックで花瓶作る

5月31日に敷島公会堂で開かれたミニデイサービスを紹介します。

利用者は14人。工作は、牛乳パックに和紙を貼り付けて、首を細くした「細首花瓶」です。利用者らは、丁寧に切つたり張り合わせたりし、すてきな花瓶を作りました。

「集中できる時間が持て、指先も使える工作は楽しい」「ちょうど良い難しさで、完成する達成感がある」となごやかに話していました。



楽しく工作する利用者

ミニデイサービス 遊びに来ませんか!

とき	地区名
7月21日	赤城町深山
7月22日	赤城町宮田
7月26日	赤城町栄
7月28日	赤城町三原田団地
8月2日	赤城町棚下
8月4日	北橘町真壁上
8月9日	赤城町持柏木
8月19日	北橘町真壁東
8月23日	赤城町溝呂木
8月25日	北橘町真壁美保
8月30日	赤城町津久田第一
9月1日	北橘町真壁下
9月6日	赤城町津久田第二
9月8日	北橘町箱田

午前10時より
各地区集会場で開かれます



甘酸っぱい香りに包まれた調理室



参加した敷島地区的皆さん

地元農産物を学ぶ催し イチゴ三昧に舌鼓

県渋川地区農業指導センターは6月4日、地元農産物を通して農村女性と消費者が交流する食農体験講座を渋川市赤城町で開きました。受講者や渋川地区農村生活アドバイザーの会、県職員ら36人が参加しました。

今回のテーマはイチゴです。参加者は、赤城町樽の須田いちご園の須田克利さんから栽培について説明を受け、園内のハウスで「やよいひめ」や「章姫」などの収穫を楽しみました。

その後、赤城公民館で収穫したばかりのイチゴを使った料理講習を行いました。アドバイザーが講師になり、ドレッシングやパンケーキ用のソース、絞りたての牛乳を使ったジュースを作りました。



イチゴについて説明する須田さん(右)

農業指導センター情報

①台風の接近が予測されるときは、雨や風の強さ、進路等を気象庁の情報等で把握します。台風の中心より東側（進路の右側）の方が風が強くなるので特に注意が必要です。

②台風が接近してきたり、ハウス周辺の見回りを行い、天窓、



写真1 陸ぱりの設置

近年、台風、大雪、ゲリラ豪雨に伴う突風等の自然災害による農業用施設の被害が増えつづります。特に被害を受けやすいパイプハウスを強風や降雪等の自然災害から守るために、日々の点検や適切な補強等の対策を知っておくことが重要です。

二 風害対策

①台風の接近が予測されるときは、雨や風の強さ、進路等を

気象庁の情報等で把握しま

しょう。台風の中心より東側

（進路の右側）の方が風が強く

なるので特に注意が必要です。

ス周辺の見回りを行い、天窓、



写真2 番線の設置



写真3 中柱の設置

①台風の接近が予測されるときは、雨や風の強さ、進路等を気象庁の情報等で把握します。台風の中心より東側（進路の右側）の方が風が強くなるので特に注意が必要です。

②台風が接近してきたり、ハウス周辺の見回りを行い、天窓、

④連棟の場合、風の影響を最も受けやすい外側の棟は、筋交いを入れて補強したり、浮き上がり防止のアンカーや外部補強金具などで肩部分の補強を行っておきます。

⑤妻部に近い1スパン分(2トド)と側面部の風当たりの強い部分には寒冷紗などを張つて補強します。

⑥マイカーラインやビニーベット等の固定具は、緩みや外れが無いか

①降雪が予想される場合は、外部遮光資材等、雪の滑落を妨げる物は必ず除去します。また、外張りフィルムの破れやたるみは、雪の滑落を阻害するので降雪前に補修します。

②雪の降り始めから、可能な限

一 近年の気象災害 パイプハウスを 守りましょう

一 近年の気象災害

換気口、出入り口などの外部と通じている部分はしっかりと固定します。

③強風で飛ばされたものがハウスに当たりハウスが破損する場合も多いので、ハウス周辺の整理を行い、風に飛ばされる恐れのある物は片付けておきます。

※台風通過中は、身の安全を最優先し、無理な作業は絶対に行わないようしましょう。

※ゲリラ豪雨に伴う突風による被害も多いことから、日頃からハウスの点検を行い、突発的な強風にも備えましょう。

④暖房機のあるハウスでは、暖房機を稼働させるとともに内張カーテンを少し開け、温風を屋根部まで行き渡らせ、融雪を促します。

⑤屋根荷重によるハウスの変形を防ぐために、陸ぱり（写真1）や太さ3ミリ程度の番線（写真2）で小屋高部を強化します。

三 雪害対策

⑥ハウス屋根部の沈み込みを防ぐために中柱を設置します。ジャッキベース付きの支柱を利用すれば高さ調節も可能です。（写真3）

※積雪後に作業をする場合には、積雪直下での作業を避けるとともに、施設の安全を確認してから除雪作業を行い、また、作業は必ず複数人で対応しましょう。

（渋川地区農業指導センター）

確認します。

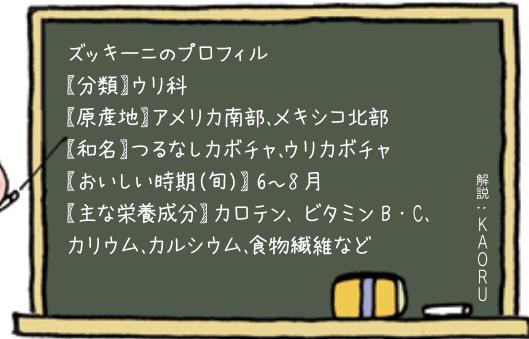
⑦ハウスに展張しているフィルムに破損部やシワ・たるみがあると耐風性が低下するので補修を行います。

③無加温ハウスでは、密閉状態で管理して屋根雪の自然落下を促します。

りハウスの雪を降ろします。



イラスト: 小林裕美子



保存方法

乾燥を防いで低温で保存
新聞紙またはラップに包んで
野菜室へ



皮が薄く
デリケートなので
傷つかないように
注意

ズッキーニのいろいろ

カボチャの一種「ペポカボチャ」の仲間
未熟果 未熟な状態を食用とするため
長期間の保存は利かないよ



ズッキーニは
果実が未熟なうちに
収穫



畑では
こんなふうに
成長するの

料理によって使い分け

長細形

黄色 深緑 薄黄緑



切り方を工夫して
和洋中いろいろな料理に

丸形



オーブン焼き
中身をくりぬいて
形を生かした料理に



花ズッキーニ

開花直前に収穫した
花付きのもの

フリッター

花の中に
チーズや肉を詰め
揚げた料理が定番



ズッキーニ

人気急上昇! 淡泊な味わいで使い勝手の良さが魅力

見分け方

切り口が
変色していなくて
みずみずしい

張りとつやが
ある

太さが均一

小ぶりの方が
柔らかくて
うま味があるよ



抗酸化作用のある
カロテン、
ビタミンCが豊富

美肌や風邪予防
に効果的

カリウムが豊富で
高血圧予防にも◎

家庭料理に日常的に使おう



スープ
みそ汁

煮崩れ
しにくい



天ぷら
炒め物

癖がなくて淡白なので
どんな料理にも合うよ

カレー
パスタ



油との
相性抜群



キッシュ風卵焼き



火が通りやすいので
時短料理に♪

ちびっ子 あつまれ!

収穫体験の 参加者募集

ワクワクするイベントが盛りだくさんの「ちびっ子農業体験」を開催します。

今年は、収穫体験やウォークランナーを予定しています。農家の母さん手作りの昼食もあります。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

●開催日時

平成28年7月26日(火)

午前9時

集合場所

渋川市赤城総合運動自然公園

対象者

管内の小学4～6年生

参加費
500円(昼食・保険料含む)

※当日集金します

申込期限

平成28年7月15日(金)

申込み・問い合わせ先
ふれあいの店しきしま店 狩野

☎ 0279(56)23325

就農支援講座 受講生を募集

パイプハウスリース 希望者を募集

定年退職者や帰農者など、就農希望者の皆さんのが農業を応援するとともに、組合員の農業知識や経営の向上を目的に就農支援講座を開講します。

受講を希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

●実施日

平成28年8月25日(木)

11月24日(木)

(計6回 現地実習含む)

●開催場所

J A本所、北橘営農生活セン

ターなど

●対象者

管内の就農希望者
(組合員外の参加も歓迎)

●募集中員

先着15人程度(先着順)

●参加費

無料

●申込期限

平成28年8月22日(金)

申込み・問い合わせ先
ふれあいの店しきしま店 狩野

☎ 0279(52)2116

地域の推進品目を中心に生産拡大を図る方を対象に、パイプハウスの導入を支援します。群馬県の補助事業を活用したJAのリース事業です。募集内容は次のとおりです。

ホウレンソウ、モロヘイヤ、パプリカ、ネギ、その他の軟弱野菜

北橘町の特産物直売所を閉店いたしました。
長らくご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

特産物直売所 閉店のお知らせ

平成28年6月30日をもって

北橘町の特産物直売所を閉店いたしました。

旧ふれあいの店八崎店の新名称が決まりました。「八崎ふれあい館」です。組合員皆さまの会議などに使っていただけるよう、内部も整備しました。ご利用の際は、経済福祉課(☎(52)2104)までお問い合わせください。

新名称決定 「八崎ふれあい館」

旧ふれあいの店八崎店の新名称が決まりました。「八崎ふれあい館」です。組合員皆

さまの会議などに使っていただけるよう、内部も整備しました。ご利用の際は、経済福

祉課(☎(52)2104)までお問い合わせください。



生まれ変わった「八崎ふれあい館」



幕を閉じた
特産物直売所

農業体験待ってるね

野菜の種や苗を植える



ジャガイモを植える青年部員

赤城町の女性農業者で組織するAKAGIグリーンアメニティと、JA青年部の部員ら11人は5月2日、赤城町北上野の畑で「ちびっ子農業体験」の準備に取り掛かりました。

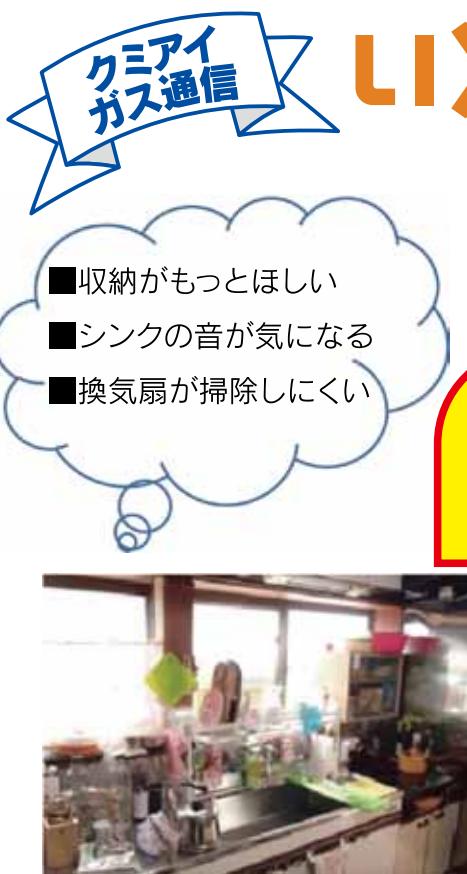
部員らは6㌶の畑にジャガイモ「キタアカリ」「ニンジンやキュウリなど、6種類の野菜の種や苗を植えました。7月26日に開催する「ちびっ子農業体験」の収穫体験や昼食用として利用する予定です。

ちびっ子農業体験は、管内の小学生を対象に毎年夏に開いています。農業に親しんでもらう催しで、趣向を凝らした企画が人気を集めています。昨年はジャガイモやトウモロコシの収穫体験、バター作りやきな粉あめ作りなどをを行い、174人の児童が参加しました。

AKAGIグリーンアメニティの角田美智子部長は、「食農教育に役立てるよう、しっかりと野菜の管理をしたい。子どもたちの笑顔が今から楽しみ」と目を細めました。



カボチャの苗を植えるアメニティ部員



クミアイ
ガス通信

LIXIL

- 収納がもっとほしい
- シンクの音が気になる
- 換気扇が掃除しにくい

キッチンリフォームで
こんな悩みを解消します!



お気軽にご相談ください

ふれあいの店北橘店 TEL.0279-52-2104
ふれあいの店横野店 TEL.0279-56-2023
ふれあいの店しきしま店 TEL.0279-56-2325



県年金友の会総会

3人が短歌・俳句で受賞

群馬県JA年金友の会は6月

16日、JAビルで第36回群馬県
JA年金友の会総会を開きました。

会員ら約210人が参加し、平成27年度の事業報告や平成28
年度の事業計画などについて協
議しました。

事業計画では、会のさらなる
発展と会員増強を目標とし、20
年目の節目を迎える短歌・俳句
大会に川柳を加えて「短歌・俳
句・川柳大会」に変更すること
が決まりました。



左から
当JAの下田満直会長、岩崎さん、萩原さん、狩野さん

● 短歌の部（入選）

電害のなすもようやくたちなほり
初もぎ一箇佛前に供えり

萩原ハナさん（北橘町真壁）

● 俳句の部（佳作）

通学路掃く朝夕や桑葉

狩野 衛さん（赤城町持柏木）

● 俳句の部（入選）

身を反らし青空搖らし柿を揃ぐ

岩崎昌子さん（赤城町三原田）

いざ「上田城」へ

親睦旅行 開催決定

毎年恒例、年金友の会の親睦旅行の日程が決まりました。

今回のコースは「大河ドラマで話題の信州2日間の旅」です。真田家ゆかりの地で、歴史ロマンに触れてみませんか。たくさんのご参加をお待ちしています。なお、会員の皆さまには、あらためてご通知いたします。

● 実施日

8月25日（木）～26日（金）

● 申込み・問合せ先

北橘支所

☎ 02779(52)2103

横野支所

☎ 02779(56)2021

しきしま支所

☎ 0279(56)2301

会員募集

友の会に入つて旅行に参加しよう

入会費・年会費は一切不要。この機会にご入
会いただき、一緒に旅行を楽しみませんか。お
問い合わせ・お申し込みは各支所まで。たくさ
んの方のお申し込みをお待ちしています。

1日目	JA管内	= 上田城址と大河ドラマ館 = きのこ村深山(昼食) = 7:30 10:00 ~ 11:30 11:50 ~ 12:50 = 松本城 = 諏訪湖温泉(宿泊) 13:50 ~ 15:00 16:00 ※宴会後、諏訪湖畔花火をお楽しみください。
2日目	ホテル	= 諏訪大社 下社春宮 = 大王わさび農場 = 8:45 9:00 ~ 9:45 10:45 ~ 11:45 = 安曇野スイス村(昼食) = 安曇野ワイナリー = JA管内 12:00 ~ 13:00 13:45 ~ 14:30 18:00

休日・夜間 緊急連絡先

●通帳、キャッシュカードの盗難、紛失

JAバンク群馬

キャッシュカード紛失共同受付センター

TEL 0120-25-4422

●交通事故(=自動車共済の事故受付)

JA共済事故受付センター

TEL 0120-258-931

●LPガス切れ・故障

JAあんしんセンター

TEL 0120-182-571

●葬祭に関する連絡先

ふれあいの店北橘店 TEL.0279-52-2104

ふれあいの店横野店 TEL.0279-56-2023

ふれあいの店しきしま店 TEL.0279-56-2325



5月末のJA報告

組合員総数	3,707人
(うち正組合員	2,223人)
出資金総額	5億 8,801万円
事業実績	
貯金総額	318億 7,435万円
貸出金総額	38億 3,136万円
長期共済保有額	1,275億 8,053万円
農畜産物販売総額	5億 2,950万円
購買品供給総額	10億 5,948万円
自己資本比率	19.06% (平成28年2月末現在)

安心と信頼を
モットーに
真心をこめて
お手伝いします。

■指定店

・ギフトショップイノ・須田葬祭

・さいとう典礼

24時間受付対応電話番号

TEL 0279-52-2104

0279-56-2023

0279-56-2325

J
A
お知らせ
葬祭事業の

開催日時	場所
8月13日(土) 9:00~15:00	各支所
8月28日(日) 9:00~15:00	各支所
9月10日(土) 9:00~15:00	各支所
9月25日(日) 9:00~15:00	各支所

「ローン相談会」は、8月から窓口相談会に変わります。月2回、各支所で開催。ローンに限らず、お気軽にご相談ください。

相談会が変わる!

休日ローン相談会開催!!

JA職員が、ご相談にお答えします。お気軽にご来場・ご相談ください。

JA赤城たちばな

お問い合わせ先 [金融課] 0279-25-8808

開催日 7月24日(日) 開催時間 AM9:00~PM3:00

開催場所 JA赤城たちばな 本所(横野支所)

よろしく
お願い
します
新採用
5月
(ふれあいの店横野店)
須田博好

- ①平成28年度業務報告提出の件
- ②パイプハウスリース事業計画の報告について
- ③當農経済情勢報告について
- ④平成28年4月末経営概況について
- ⑤当面の行事予定について

理事会だより(6月1日)

協議事項

第1号議案

平成28年度仮決算方針決定の件

第2号議案

平成27年度業務報告提出の件

第3号議案

平成28年度における理事の報酬配分決定の件

第4号議案

平成28年度における理

事の報酬配分決定の件

第5号議案

平成28年度における理

事の報酬配分決定の件

第6号議案

平成28年度における理

事の報酬配分決定の件

第7号議案

平成28年度における理

事の報酬配分決定の件

第8号議案

平成28年度における理

事の報酬配分決定の件

第9号議案

平成28年度における理

事の報酬配分決定の件

第10号議案

平成28年度における理

事の報酬配分決定の件

読者

俳句

吉岡好江選

濯ぎ干す心も干して初夏の風

花桃の香り漂う信州路

下田よしい

工房は人で賑はひ夏來たる

佐藤 満子

JJA赤城たちばな

コトナリ

大鉢に植えてたのしいミニトマト

齋藤 梢保

ミニトマトは育てやすいので大きな鉢に植えて赤くなるのを待つのは楽しい。食卓に彩りを添えるミニトマトの収穫が待たれる。

手足動く内は現役落おやき

石田 トミ

手足の動く内は現役。故に落おやきをつくり、家族に又は親しき人にもと、小まめに立ち働き、ようこばれています。健やかな暮しぶりが一句に昇華されました。

猫のいるわが家燕の宙返り

高橋 絹江

評 猫が何匹もいる家。残念ながら燕も寄るすべもないのです。宙返りの燕は何処へ。

奥利根や白根葵の淡き群れ
新樹すがし娘の来る頃や庭に佇つ
まつさらの長靴弾む初夏の雨

狩野美智子

大友 龍子

紫蘇揉むや香につゝまるゝ夕厨

諸田みね子

蛍袋「ほたるのとうち」と背の児が

岩崎 初江

おだやかな心で写経涼しかり

大谷利津子

雨しど紫陽花の藍際立てり

諸田 夏江

田水張る田毎に搖らぐ夕陽かな

吉田春江

雨蛙藪の中よりとび出せり

星野 幸子

犬小屋は水鉄砲の激戦地

角田美枝子

咲き競う日をまなうらに菊芽挿す

高橋 初江

おだやかな心で写経涼しかり

岩崎 初江

紫蘇揉むや香につゝまるゝ夕厨

大谷利津子

雨しど紫陽花の藍際立てり

諸田 夏江

田水張る田毎に搖らぐ夕陽かな

吉田春江

あなたの俳句 お待ちしております。

[投句の記載事項]

俳句(漢字にはフリガナをつけ、楷書で記入)
郵便番号／住所／氏名(俳号併記)／年齢／電話番号

[投句方法]

- ・最寄りの支所窓口へ
- ・FAX:(0279)56-4152
- ・e-mail:tsubasa@jaat.jagunma.net
- ・郵送:〒379-1124 渋川市赤城町滝沢64-2

[投句先]

JJA赤城たちばな 企画管理課

[締め切り]

平成28年8月5日

みなさん、
ご応募
ください。

風船やむかし富山の置薬

吉田 春江

雨蛙藪の中よりとび出せり

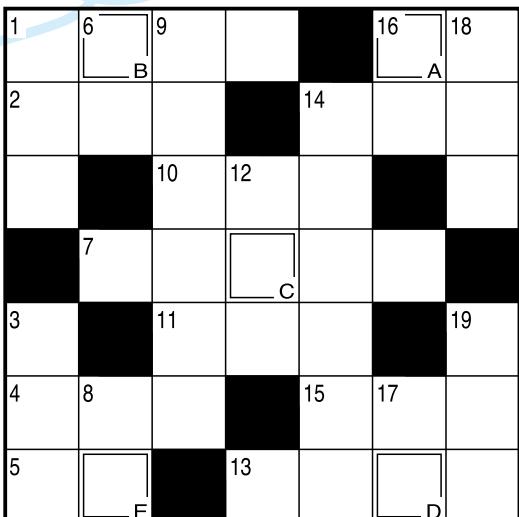
兵藤 德香

小走りのほかに術なし羽抜鳥

選者詠

【クロスワード】

二重枠に入った文字を、A→Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



19. 行きはよいよい、
る
は怖い
18. もう着ない服が、
いえば何の豆?
17. 明ければ夏本番
16. 考え事をする際に組む
15. 島根県の県庁所在地であ
る市
14. 金時、ウズラ、手亡と
13. の塔は沖縄県糸満市
12. みそ汁の具に使われる
二枚貝
11. 東京に住んでいる人のこ
と
10. カタカタと布を縫います
9. シャトルを打ち合う球
8. キャンドルからぼたり
と垂れます
7. 平面は二次元、立体は
6. カレーに添えることとも
あるインドのパン
5. 手のひらの裏側です
4. 夕張産が有名な果物
3. ぬめりの強いのこ
2. 火を付けて一服
1. ぬめりの強いのこ
■タテのカギ
■ヨコのカギ

今回の出題は、クロスワードパズルです。正解者には抽選で粗品を進呈しますので、皆さん振るってご応募ください。

[応募要項]

はがき(私製も可)に、答えと住所、氏名、年齢、職業、TEL、ご意見等をご記入のうえ、JA各支所または、企画管理課までお送りください。

e-mail・FAXでもご応募できます。

e-mail tsubasa@jaat.jagunma.net

FAX:(0279)56-4152

[締め切り] 平成28年8月10日

【はがきの記入例】

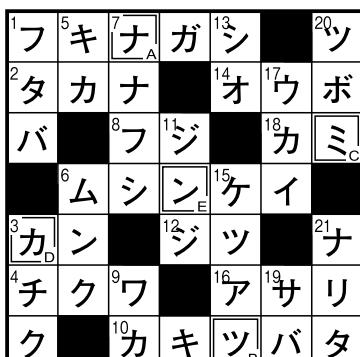
1. 答え	切手	379-1124
2. 住所 氏年 職業 電話番号	渋川市赤城町滝沢 企画管理課行	六四一二
3. ご意見等	J.A.赤城たちばな	



【前号の解答】

クロスワードの答え

ナツミカン
A B C D E



■当選者(応募数16通)

高橋美智子さん 北橘町下箱田
高嶋由美子さん 北橘町上南室
井上あゆ美さん 北橘町小室
都丸壽江さん 赤城町上三原田
都丸光代さん 赤城町敷島

手の届く花の梅が枝たぐりたる
ほのかな香り瞬時を癒す
思い出ばかり脳裏をよぎる
狩野千代子

見上げればきらめく光立春の
雪の武尊は晴れて雲なし
荒れ狂ふ赤城おろしに舞ひ上る
ビニール袋は生き物の如し

狩野 達雄

木暮登美子

短歌

やまゆり短歌会

宿を守る女将の愛想乏しきも
素朴の言葉にかえて親しむ
都丸 光代

彼岸前腰病みし我を気遣いて
傭夫婦は墓地掃除せり
津久井ケイ

落のとうよもぎ菜の花天麩羅に
皿に春盛る今宵の食卓

茂木 初江

5年生が米を学ぶ 育苗見学に田植体験



初めて見る苗に興味津々

橋北小学校の5年生26人は5月18日、JAの北橋水稻育苗センターを見学し、苗作りを見ました。

J Aの担当職員から、種の選別や消毒、種まきや芽出しなど水稻苗の育成管理について説明を受けた後、播種プラントや出芽室を見学。パイプハウスや育苗プールでは育成中の苗を興味深く観察しました。

児童は、6月7日に同センターが育てた「ひとめぼれ」で田植えをしました。成長を觀察し、秋には稲刈りする予定です。

熱心に機械を見学する児童ら

津久田小学校の5年生18人と南雲小学校の5年生4人は5月31日、赤城町津久田の角田賢司さんの田んぼで、田植えを体験しました。

児童らは、泥の感触に戸惑いながらも徐々に慣れ、苗を植えるスピードもアップしました。尻もちをつくハーピングもありましたが、みんなで協力して植えていました。

「田植えは楽しい」「疲れたあ」と笑顔で話していました。

苗が植え終わつた田んぼを見た角田さんは「眞面目に、丁寧に植えられた」と児童らを褒めました。



上手に植えた苗をバックに笑顔の児童

農家・JAで実習 新入社員 全農青果センター

力を合わせてナス用のパイプを建設



JA赤城たちばな

5月6～26日にかけてJA全農青果センターの新入社員2人が、JA管内で研修しました。

2人は、ネギ苗の定植作業やリンゴの摘果作業などを生産者の畑で実習。水稻育苗センターや野菜集出荷場でJAの業務を体験しました。慣れない作業や根気のいる作業に苦戦したようですが、「現場を知る良い機会。とても勉強になつた」と笑顔を見せました。

農業について学んだ2人は、「手間と苦労をかけて作られた農産物を高く売り、農家の利益を少しでも上げられる努力をしたい」と全農青果センターの社員としての意気込みを話しました。